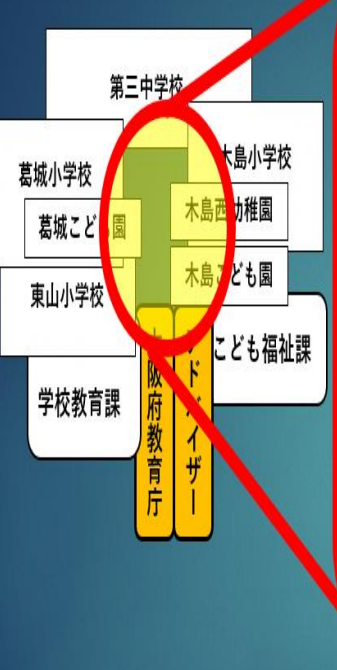


令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・指定都市名 **大阪府** 地域名 **貝塚市・第三中学校区**

人権課題 **同和問題、インターネットによる人権侵害、障がい者問題、外国人問題等**

各組織の動き・役割等



- 大阪府人権教育運営協議会 (年2回)**
大阪府域人権教育総合推進地域・研究指定该校当市町村教育委員会人権主管課長・府立高校校長・府教育庁担当者
※役割 大阪府全体の方針の決定と共通理解
- 三校区人権教育担当者会議 (適時・月2回程度)**
三 中 事業担当者・小中一貫担当者 葛城小 人権担当者 東山小 人権担当者 木島小 人権担当者
※役割 実務におけるメイン会議 (事業運営の中心)
- 三校区人権教育推進会議 (月1回)**
三校区人権教育担当者会議メンバーに加えて各校園長・各校教務主任・小中一貫担当・学校教育課主幹
※役割 基本的な取組み事項の決定機関
- 三校区人権教育総合推進会議 (学期1回)**
三校区人権教育推進会議メンバーに加えて学校教育課 参事・子ども福祉課長・アドバイザー・府教育庁指導主事
※役割 府やアドバイザーも交えた全体方針の調整
- 三校区人権教育全体会 (年3回)**
三校区全教職員
※役割 校区全体の共通理解をはかる (講演会・報告会)

子どもたちが思いを語り、認め合い、つながる力を育成する校区をめざして

各部会の研究テーマ

- 生徒指導・特別活動部会**
・ネット社会に潜む人権課題を見抜く力の育成
～自分を見つめ相手を認める校区の子どもたち～ ICT活用力と反差別の行動力を育成
- 授業・学力部会**
・少数意見を言っても気後れしない、分からないと言える授業づくり
・各授業で「思いを語る」ことから「語るWeek」に向けた取組み
- 人権・道徳部会**
・部落問題学習につながる取組みとは何かを考え各校園の取組みを出し合いすり合わせる
・貝塚市の地域教材の開発と活用
・体系的な人権教育カリキュラムの作成・実践
・自分の意見・考えを伝える道徳の授業

令和3年度 貝塚市立第三中学校区 小中一貫三部会研究体制

	推進会議	生指・特活部会	学力・授業部会	人権・道徳部会
葛城小学校	校長+教務+担当	部長+5名	5名	6名
葛城こども園	園長			
木島小学校	校長+教務+担当	8名	9名	9名
木島西幼稚園	園長	担当		
木島こども園	園長			
東山小学校	校長+教務+担当	14名	15名	部長+15名
第三中学校	校長+教務+担当+小中一貫	17名	部長+16名	17名

校種間連携の概要

本校区の教職員を縦割りで3つの部会に分け、以下の研究を進めた。
 ①校区全体による体系的な人権教育カリキュラムの作成、実践。②人権教育の観点に基づき作成したキャリアパスポートの実践を通じて、検証・修正。また校種間で統一したアンケート作成や検証にICTを活用。③就学前から中学校までの体系的なキャリア教育全体計画の作成。④校区全体で「思いを語る～語るWeek」を設定。そのための授業づくりや仲間づくりの研究。

地域との連携の概要

- ・校区にある福祉施設の職員 (セラピスト) や地域の人から助言をいただき指導案作成。
- ・各校の学校評議会にて本事業の取組み・成果を報告し、その意見を取組みや研究に反映。